

8項目の「協カプラン」:概要

1. 医療水準を高め、ロシア国民の健康寿命の伸長に役立つ協力

- 日露予防医療センターの開設(ハバロフスク)
- がん分野(小児・消化器)における技術支援(モスクワ、リヤザン)
- 肥満予防医療プログラムの展開(モスクワ他5地域)
- COVID-19の迅速検査キットの協力 等



2. 快適・清潔で、住みやすく、活動しやすい都市作り

- スマート信号による渋滞緩和(ウオロネジ、ウラジオストク)
- 性能のよい日本式住宅の販売(ウラジオストク、カザン)
- 非開削管路更生工法で下水道管路を更生(ウオロネジ、サンクトペテルブルク)
- ゴミ焼却発電プラントの建設(モスクワ)
- 郵便インフラシステムの高度化 等



3. 日露中小企業の交流と協力の抜本的拡大

- 日露中堅・中小企業のオンラインによるビジネスマッチング
- 食の展開、日露間でのフォーラム・見本市開催 等



4. 石油、ガス等のエネルギー開発協力、生産能力の拡充

- 日露エネルギー・パートナーシップ協議会(炭化水素、原子力、省エネ・新エネ、水素・燃料アンモニア・CCS・CCU/カーボンリサイクルの協力)
- 北極LNG2、LNG積替え基地事業、石油化学プラント案件への参加
- 風力発電の導入・拡大や省エネルギーに関する協力 等



分野横断的事項

- JBICとRDIF(ロシア直接投資基金)との共同投資枠組みの設立と案件組成
- 8項目の「協カプラン」の各項目で、デジタル経済の実現に向けた協力を実施

5. ロシア産業の多様化促進と生産性向上

- ロシア企業の生産性診断、人材育成事業
- 日本企業による生産性向上協力(サンクトペテルブルク)
- 日本センターの訪日研修
- メタノール供給契約の締結、メタノール輸送船の協力 等



6. 極東における産業振興、アジア太平洋地域に向けた輸出基地化

- 木質ペレットの生産工場完成(アムールスク市)、日本向け供給を開始
- 温室栽培(ヤケツク等)
- 極東の農業・水産業生産力強化に係る共同プロジェクトの発掘
- ハバロフスク空港旅客ターミナルビル整備・運営
- 極東港湾の高度化(ヴォストーチヌイ港に石炭荷役機器を納入等) 等



7. 日露の知恵を結集した先端技術協力

- 衛星通信を用いたデジタル・ディバイド解消
- 穀物・畜産・油脂・砂糖等の農業・食品分野における協力
- シベリア鉄道による貨物輸送の促進 等



8. 両国間の多層での人的交流の飛躍的拡大

- 大学間交流:
大学の世界展開力強化事業(2014~2021年度累計12件13大学)
2014~2020年の間、累計で受入れ1,399人、派遣1,507人の学生交流を実施
- 地域間交流:2019年にモスクワで9年ぶりに日露知事会議を開催
- 日露地域交流年:2020-2022年開催
- 観光交流:日露交流人口合計少なくとも40万人(2023年)目標設定 等

※これまでに200件を超える民間プロジェクトを創出。その約6割で具体的な投資等に至る